

## 3 モデル校における取組

【裾野市立富岡第一小学校】

時期	対象	時間	内容	栄養教諭の関わり
通年	3年生	総合的な学習の時間	茶摘み体験、手もみ茶体験、淹れ方体験、お茶に関する調べ学習など、総合的な学習の時間（ユメイク）の中で、お茶に関する様々な取り組みを行い、新聞等にまとめる。	有
通年	4年生	総合的な学習の時間	茶摘み体験、手もみ茶体験、お茶に関する調べ学習など、総合的な学習の時間（ユメイク）の中で、お茶に関する様々な取り組みを行い、調べたことをまとめる。	有
通年	全校	給食の時間	毎月1回、静岡茶を使用した献立を提供し、献立表や給食だより、ホームページで紹介。	有
9月	全校	給食の時間	4年生が総合的な学習の時間で摘んだ茶葉を使って冷茶を作り、給食の時間に飲む。	有
10月	5年生	家庭科	日本茶インストラクターを講師として招き、おいしいお茶の淹れ方を学び、実際に淹れ方の体験を実施。	有
10月	6年生	特別活動	茶道体験を通して、お茶を頂く作法やお茶の文化について学ぶ。	有
10月	保護者 児童	家庭教育学級	地域の製茶店主を講師として招き、親子でおいしいお茶の淹れ方を学び、実際に淹れ方の体験を実施。	有
10月	6年生 保護者	学校保健 委員会	「ふじのくに茶の都ミュージアム」副館長を講師として招き『めざせ！お茶博士～お茶のヒミツを探る～』というテーマで講演を実施。	有
11月	全校	児童会行事	児童会行事「富っ子のつどい」で、4年生が総合的な学習の時間で学んだお茶に関する事柄を、他学年の児童や保護者に伝える。	無
11月	4年生	社会科	「ふじのくに茶の都ミュージアム」へ社会科見学へ行き、お茶の歴史や栽培、製茶方法などについて学ぶ。	無
11月	5年生	家庭科	朝食啓発リーフレット「朝ごはん食べていますか。」（県教委発行）を活用し、朝食指導を行う。	有
冬季	全校	—	インフルエンザ流行の時期に合わせて、スティック茶を配付し、学校でお茶を飲む。	有

活動名	お茶摘み		
実施期間	5月8日（水）・・・4年生 6月13日（木）・・・3年生	実施場所	地域の茶畑
対象	3・4年生児童	指導者	担任・地域のボランティア
栄養教諭の関わり	無	時間	総合的な学習の時間

ねらい

校区に茶畑があることを知り、茶摘みが身近なところで行われていることを知る。  
お茶の葉がどのように収穫されているかを、お茶摘み体験を通して確かめる。

家庭・地域との連携のための手立て

地域の方が茶畑を提供、茶摘みの講師として参加。

内容

- ・地域の茶畑で茶摘み体験を行う。
- ・摘んだ茶葉は製茶して、学校のさまざまな活動や給食に使用する。



お茶の摘み方を  
教わりました。



お茶摘みスタート！

こんなにたくさん  
摘みました！



上手に摘めたよ。



対象者の感想

- ・摘んだ葉っぱからいつも飲んでるお茶のにおいがしたよ。
- ・お茶摘みは初めてだったけれど、上手に摘めてよかった。

成果○と課題●

○お茶摘みを経験したことのない児童が多く、お茶を身近に感じる良い機会であった。  
○摘んだ葉がどのようにして普段飲んでいるお茶になるのかなど、児童の中で今後の学習につながる疑問が生まれていてよかった。

活動名	お茶を飲む会		
実施期間	6月27日（木）	実施場所	教室
対象	3・4年生児童	指導者	担任・地域のボランティア
栄養教諭の関わり	有	時間	総合的な学習の時間

ねらい

茶摘み、手もみ茶作りを体験して、お茶の葉がどのように製茶されるのかを学んだ児童が、実際にお茶を味わうことで、さらにお茶への興味関心が高まる。

家庭・地域との連携のための手立て

地域ボランティアが講師として参加。

内容

- ・地域のボランティアの方から、急須でのお茶の淹れ方を教わる。
- ・淹れていただいたお茶を飲み、普段飲んでいるお茶との共通点や違いを探る。



お湯を入れたら  
60秒、みんなで  
数えてみよう。



温かくておいしいよ！



対象者の感想

- ・家で飲むお茶より色も味も濃くて、少し苦かった。
- ・お茶はふだん飲まないけれど、おいしかった。
- ・ペットボトルのお茶と味が全然ちがうのが不思議。

成果〇と課題●

〇自分たちが摘んだお茶を味わうことができる良い機会となった。特に、急須でお茶を淹れる様子を初めて見る、淹れたお茶を初めて飲むという児童にとっては貴重な経験であった。

活動名	冷茶を味わおう		
実施期間	9月	実施場所	教室
対象	全校児童	指導者	担任・栄養教諭
栄養教諭の関わり	有	時間	給食の時間

ねらい

- ・4年生が摘んだ茶葉を使う事で、お茶が自分たちの身近なところで作られていることを感じる
- ・茶葉から簡単に冷茶を作ることができることを知る。

家庭・地域との連携のための手立て

食育だよりで紹介。

内容

9月の給食の時間に冷茶を提供した。

実施回数：各クラス1日、学年ごとに日を決めて実施。  
 実施方法：キーパーに冷茶を作り、各クラスに配付。



対象者の感想

- ・家ではペットボトル以外のお茶を飲んだことが無いので、とても美味しかったです。（児童）
- ・最初は少し苦いと思ったけど、慣れてきたらすごくおいしかったです。また飲んでみたいです。（児童）
- ・子どもたちのお茶を飲む勢いに圧倒されました。お茶好きが多いことも分かりました。（担任）

成果○と課題●

- 暑い時期だったため、冷茶は児童にも先生方にも好評だった。
- 冷茶を飲む日は和食献立の日を設定したため、和食にはお茶が合うと感じた児童が多かった。
- 今回は1クラス1日のみの実施であった。回数を増やすには、キーパーの準備や片付けを誰が行うか、茶器はどうするかなどの検討が必要。

活動名	おいしいお茶の淹れ方教室		
実施期間	9月18日（水）	実施場所	教室
対象	3年生児童	指導者	担任・栄養教諭
栄養教諭の関わり	有	時間	総合的な学習の時間

ねらい

おいしいお茶の淹れ方を知り、体験することで、家でもやってみようという意欲が高まる。

家庭・地域との連携のための手立て

授業参観日に実施

内容

- ①お茶のおいしい淹れ方について学ぶ。
- ②栄養教諭によるデモンストレーション。
- ③3人一組でお茶を淹れる体験を行う。



自分で淹れるのは初めて！緊張するな。



1煎目、2煎目、3煎目の味や色の違いを確かめながら飲みました。

対象者の感想

- ・お茶を淹れるのははじめてだから上手にできるか不安だったけれど、すごく楽しかったです。
- ・1煎目はおいしかったけれど、2煎目はちょっと苦かった。3煎目はすごくおいしかった。

成果○と課題●

○お茶を自分で淹れるのは初めてだという児童が多く、楽しかった、家でもやってみたいという感想が多くあった。

●実際に自分たちでお茶を淹れてみる時に、茶葉や湯の量、作業の順番に戸惑う児童が多かった。低学年や中学年で実施する際には担任・栄養教諭以外に複数の大人の支援があると良いと感じた。

活動名	お茶の淹れ方講座		
実施期間	10月21日（月）	実施場所	家庭科室
対象	5年生児童	指導者	日本茶インストラクター
栄養教諭の関わり	有	時間	家庭科

ねらい

お茶の淹れ方を知り、実際に体験することで、自分でもお茶を淹れてみようという意欲が高まる。

家庭・地域との連携のための手立て

児童の感想用紙に保護者からのコメント欄を設ける。

内容

- ①茶の歴史、種類についての講話。
- ②日本茶の淹れ方についての説明。
- ③自分たちでお茶を淹れる体験活動。

お茶の種類や作り方について教わりました。

上手に淹れることができるかな。  
緊張するな。

1煎目、2煎目、3煎目・・・  
いちばん好みの味はどれだろう。



対象者の感想

- ・教わったことを考えながらもらったお茶をいれたら、家族が「おいしい」と言ってくれたのでよかったです。（児童）
- ・ぼくはお茶の味がお湯の温度によって変わるなんてびっくりしました。3回お茶をいれて1番好きなのは3番目のお茶でした。（児童）
- ・はじめて息子がお茶を淹れてくれました。とても丁寧に淹れてくれておいしかったです。（保護者）

成果○と課題●

- 児童が家でもお茶を淹れてみようという意欲をもつことができた。
- 45分という限られた時間の中でお茶についての講話と淹れ方の体験を行うのは慌ただしく感じた。動作がゆっくりな児童を急がせてしまわないように、淹れ方体験にもっと時間をかけることが出来ると良い。

活動名	茶道体験		
実施期間	10月25日（金）	実施場所	会議室
対象	6年生児童	指導者	茶道講師
栄養教諭の関わり	有	時間	特別活動

ねらい

茶道体験を通して、お茶の作法や文化について学ぶ。

家庭・地域との連携のための手立て

地域の団体が茶道講師として参加。

内容

- ① 茶道の歴史、茶室の意味についての講話。
- ② 講師と担任教諭によるデモンストレーション。
- ③ 茶道体験。

お茶の頂き方、茶室への入り方、お辞儀の仕方など茶道の作法について体験しました。



講師の先生と担任によるデモンストレーション



対象者の感想

- ・ 茶道体験は初めてだったので上手にできるか緊張したけれど、楽しかった。（児童）
- ・ 抹茶が苦くてびっくりしたけれど、お菓子の甘さと合うと思った。（児童）
- ・ 畳と床の間のある茶室のような空間でお茶をいただく経験は、子どもたちにとっては貴重。日本の文化を知る良い機会になったと思う。（教諭）

成果○と課題●

- 茶道体験を通して、社会科の授業で習った日本の文化に触れることができた。
- 貴重な体験なので、毎年続けていくための調整が必要。（講師調整、予算等）

活動名	簡単・美味しい 日本茶の淹れ方講座		
実施期間	10月26日(土)	実施場所	家庭科室
対象	富岡第一小学校児童、保護者	指導者	地域の製茶店店主
栄養教諭の関わり	有	時間	家庭教育学級

ねらい

親子で簡単で美味しいお茶の淹れ方を体験することで、家庭でほっとひと息、お茶をする時間をもとうという意欲が高まる。

家庭・地域との連携のための手立て

地域の製茶店店主を講師に、親子で参加できる講座とした。

内容

①講師によるお茶についての講話。

②淹れ方実演。

③お茶の淹れ方体験、茶会。

湯温や湯量などに  
こだわりすぎず、気軽に  
お茶を楽しむ方法を  
教わりました。



浅蒸し煎茶、深蒸し煎茶、  
茎茶など種類ごとの違い  
を親子で味わいました。



対象者の感想

- ・いつも子どもが苦いと言って家では用意していなかったのですが、今日一緒においしく飲めていたので、これから家でも出してみようと思いました。(保護者)
- ・今後もこのような講座があると子どもと一緒に楽しめると思います。(保護者)
- ・お茶は淹れるのがむずかしいと思っていたら、かんたんにささっとできるのでびっくりしました。(児童)

成果○と課題●

○児童と保護者が一緒に活動することで、家庭で実践しようとする意欲を高めることができた。



活動名	めざせ！お茶博士～お茶のヒミツを探る～		
実施期間	10月28日（月）	実施場所	体育館
対象	6年生児童、保護者、教職員	指導者	養護教諭、学校医、学校歯科医、ふじのくに茶の都ミュージアム副館長
栄養教諭の関わり	有	時間	学校保健委員会

ねらい

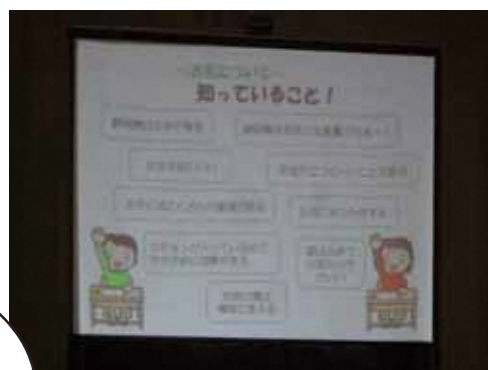
- ・児童、保護者がともにお茶に対する知識を深め、愛飲の促進につなげる。
- ・お茶が健康に良いことを知ることで、健康を意識した生活を実践する。

家庭・地域との連携のための手立て

保護者も参加できる活動とした。

内容

- ①保健委員会による児童アンケートの報告。
- ②ふじのくに茶の都ミュージアム副館長による講演。  
（お茶に関する内容をクイズ形式で実施）
- ③学校医、学校歯科医の先生からの講話。



保健委員会が6年生の生活習慣や普段飲む飲み物について調べた結果を発表しました。

お茶博士を目指してクイズに挑戦！



対象者の感想

- ・今まで知らなかったお茶のことをたくさん知ることが出来ました。家族に話してみると知らないことがたくさんあったようで、喜んで聞いてくれました。（児童）
- ・私の知らなかったお茶の知識をたくさん知ることができました。これからはジュースや麦茶ではなく緑茶を飲みたいと思いました。（児童）
- ・クイズ形式でいろいろ学べて楽しかったです。最近、お茶を淹れて飲むことが少なくなったので、これから飲んでいきたいです。（保護者）

成果○と課題●

- 講師の先生のお話がクイズ形式で進んでいったため、子どもが最後まで興味をもって参加することができた。
- 参加した保護者から、知らないことばかりで勉強になった、家でもお茶を飲むようにしたいという意見が多くあり、興味の高まりを感じることもできた。

活動名	富っ子のつどい		
実施期間	11月2日（土）	実施場所	教室
対象	4年生児童（全校児童が参加）	指導者	担任
栄養教諭の関わり	無	時間	児童会行事

ねらい

総合的な学習で学んだお茶に関する事柄を取り入れ、お店のゲームや展示物を通して学んだことを他学年の児童や保護者へ伝える場にする。

家庭・地域との連携のための手立て

保護者がお客さんとして各クラスのお店を回る

内容

各クラスでテーマ・内容を決めてお店を運営する。  
児童は前後半に別れて、店員役とお客役を経験する。



茶葉の重さのちがいを  
利用したゲーム。



いろいろなお茶の  
おいを当てよう！



勉強したことをクイズに  
して家の人に伝えるよ。



対象者の感想

- ・4年生でお茶のことをたくさん知ることができたので、それを新聞にしたり、クイズにしたりしました。（児童）
- ・富っこのつどいではお茶のキャラクターを考えて、そのキャラクターを使ったゲームを作りました。（児童）
- ・みんなで協力してお店の内容を計画して、本番ではみんなで仲良くがんばりました。（児童）

成果〇と課題●

〇お茶についてこれまでに学んできたことを、クイズやゲームに上手く盛り込んだ内容であった。  
〇子どもたちの「学んだことを伝えたい！」という思いが強く感じられる内容だった。

活動名	社会科見学		
実施期間	11月6日（水）	実施場所	ふじのくに茶の都ミュージアム
対象	4年生児童	指導者	ふじのくに茶の都ミュージアム職員担任
栄養教諭の関わり	無	時間	社会科

ねらい

総合学習でお茶について学んでいる児童が、ふじのくに茶の都ミュージアムを見学することを通して、お茶についてより興味、関心をもって今後の学習活動に生かせるようにする

家庭・地域との連携のための手立て

内容

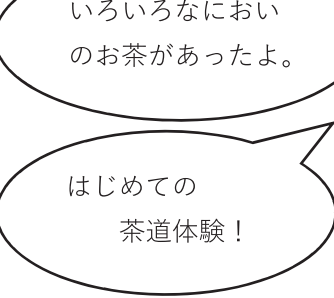
ふじのくに茶の都ミュージアムにて、お茶の産業、歴史、文化、機能性等の展示見学や、茶室での茶道を体験。



いろいろなにおいのお茶があったよ。



これもお茶の木なんだ！



はじめての茶道体験！



こうやってすりつぶしていたんだね。



対象者の感想

- ・お茶の歴史、種類、成分が分かりこれからの勉強に役立つと思いました。もう1回行きたいです。
- ・お茶は飲むだけでなく人間関係にも役立つことを知り、だからお客さんが来たときにお茶を出すのかなと思いました。
- ・お茶ミュージアムでいろいろな事を知ったけれど、一番よかった事は抹茶を飲んだことです。理由は、抹茶はなかなか飲むことができないからです。

成果○と課題●

○展示物がたくさんあり、いろいろなことを知ることができた、楽しかったという感想が多くあった。茶室での茶道体験も初めて経験する児童が多く、良い経験になった。

#### 4 モデル校における取組

【両校】

活動名	栄養バランスのとれた朝食をとろう		
実施期間	11月から12月	実施場所	教室
対象	5年生児童	指導者	担任、栄養教諭
栄養教諭の関わり	有	時間	家庭科

ねらい

朝食調査を行った子どもたちが、五大栄養素や3つの食品グループについて勉強することを通して、栄養バランスのよい食事の大切さを知り、実践しようとする。

家庭・地域との連携のための手立て

朝食啓発リーフレット「朝ごはん食べていますか。」の活用（保護者コメント記載欄あり）

内容

- ①事前に第1期の朝食調査をしておく。
- ②五大栄養素や3つの食品グループについて栄養教諭と一緒に勉強する。
- ③自分の食事（朝食）を振り返る。
- ④事後に第2期の朝食調査を実施する。



給食は3つのグループがそろっているね。

毎食、野菜をしっかり食べたいな。



対象者の感想

- ・赤、緑、黄色には学校生活にとっても大切な栄養素があることが分かったので、朝ごはんをとれるようにしたい。
- ・給食にはたくさんの食材が使われていることがわかった。
- ・体の調子を整える野菜をしっかり食べて、元気に過ごしたい。
- ・野菜がとれていない日があったので、食べるようにしたい。
- ・朝ごはんをバランス良く取るために、今日、学んだことをお母さんにしっかりお願いしたい。朝、手伝えたら手伝いたい。
- ・起きる時間を早くして、朝ごはんの時間を多くとりたい。

成果○と課題●

- 栄養教諭がTTで指導することで、五大栄養素や食品の働きについて理解が深まった。
- 栄養バランスを意識して朝食をとろうとする意欲を高めることができた。
- 朝食摂取の有無や内容については家庭環境によって差があるため、家庭へのアプローチを工夫する必要がある。
- 授業の学びを家庭における実践につなげるため、リーフレットを効果的に活用する工夫が必要。

活動名	給食でお茶を味わう		
実施期間	通年	実施場所	教室
対象	児童・教職員	指導者	担任、栄養教諭
栄養教諭の関わり	有	時間	給食の時間

ねらい

静岡茶が身近なものになることを目的に、静岡茶を使った献立を提供する。お茶についての情報を給食放送で紹介する。

家庭・地域との連携のための手立て

献立表、食育だより、学校ホームページで紹介。

内容

学校給食で静岡茶を使用した献立を提供。

【東小】

- 5月 黒はんぺんの新茶揚げ お茶揚げパン
- 6月 お茶グラタン
- 7月 手作りお茶ふりかけ
- 9月 茶（チャ）ーハン
- 10月 手作りスイート茶ポテト
- 11月 手作りお茶蒸しパン お茶トースト
- 12月 茶ふきいも
- 1月 魚の茶パン粉焼き

【富岡第一小】

- お茶揚げパン 鶏のお茶唐揚げ
- 黒はんぺんのお茶フライ
- お茶蒸しパン
- 手作りお茶ふりかけ
- 茶ふき芋
- 茶ーハン
- お茶グラタン



お茶のかおりがするよ！  
おいしいよ！



対象者の感想

- ・茶ーハン、はじめての味でおいしかったです。
- ・お茶揚げパン、いつもと違って驚いていました。でもおいしく食べていました。
- ・じゃがいもについていたお茶の葉の味が感じられてよかったです。
- ・お茶のかおりがさわやかでした。
- ・お茶ふりかけ、手作りにびっくりしていました。
- ・お茶のアイディア料理、おいしいですね。

成果〇と課題●

- 静岡茶やお茶の活用方法を知ってもらうよい機会になった。
- もぐもぐ日記にお茶に関するクイズをのせ、豆知識が増えた。
- 市内の他校の栄養士と献立交換をして、市内に広めることができた。

活動名	学校で静岡茶を飲もう		
実施期間	冬季	実施場所	校内
対象	全校児童	指導者	学級担任、養護教諭、栄養教諭
栄養教諭の関わり	有	時間	—

ねらい

冬季のインフルエンザ流行時期に合わせてスティック茶を配布し、家庭でお茶を作って水筒で毎日持参し、静岡茶を飲む習慣づくりのきっかけとする。

家庭・地域との連携のための手立て

家庭で簡単にお茶をつくることのできるスティック茶（粉末緑茶）の活用。

内容

- ①スティック茶（粉末緑茶）の配布。
- ②家庭で、水筒にスティック茶を溶かし入れ、学校へ持参。  
休み時間等に、飲用やうがい用として活用。
- ③身体測定時にお茶の効用を栄養教諭・養護教諭が指導。
- ④給食放送等で、お茶についての情報を提供。
- ⑤お茶を愛飲する習慣作りの機会の確保。



お茶って体にいいんだね！



対象者の感想

- ・学校で配られたスティック茶のおかげでお茶を飲む習慣ができました。
- ・スティック状になっているので、簡単に作ることができた。
- ・粉茶がなかなか溶けなかったけど、思っていたよりおいしかった。

成果○と課題●

- 子供たちのお茶に対する関心や、健康への意識を高めることができた。
- お茶には健康な体を維持するための様々な成分が入っていることや、効果があることを知ることができた。
- 水筒の中身がお茶かどうかを確かめようがない。

## 5 栄養教諭を中核とした全校体制による食育の指導・評価方法の開発

取組目標	○食に関する指導の計画の作成・運営について、指導部を活用し、より具体性のある計画及び評価方法を整備する。	
モデル校	東小学校	富岡第一小学校
参画した教科・領域	総合的な学習の時間（4年・お茶の淹れ方、5年・茶道） 家庭科（5年・加熱用調理器具の安全な取扱い、6年・1食分の献立作成） 特別活動（2年・ソラマメのさやむき、特支学級・とうもろこしのかわむき）	体育科（4年・健康な生活） 家庭科（5年・朝食指導、6年・1食分の献立作成） 総合的な学習の時間（3年・お茶の淹れ方、4年・お茶の淹れ方） 特別活動（1年・ソラマメのさやむき、2年・グリンピースのさやむき、特支学級・とうもろこしのかわむき）
指導部の活動状況	○健康指導部（毎月）において、月目標、食に関する行事等の資料を配布し、各学年に伝達。 ○食に関する指導の全体計画で予定している時期に、関係職員に声かけをして調整の有無を確認。 ○今年度予定して実施できたものと、そうでないものを整理し、次年度の計画を検討。	○元気づくり部（隔月）において、月目標、食のお知らせ等の資料を提供し、各学年に伝達。 ○食に関する指導の全体計画で予定している時期に、関係職員に声かけをして調整の有無を確認。 ○今年度予定して実施できたものと、そうでないものを整理し、次年度の計画を検討。
評価方法	○学校評価の活用。 ○教職員用は項目として取り上げていたが、表現を変えて評価。（保護者用は次年度から追加予定。）  「給食の時間を活用した食に関する指導やつながる食育の活動等により食に関する関心は高まっていますか。」	○学校評価の活用。 ○教職員用に2項目設定し評価。  「給食時間において、食事のマナーを意識した指導や見届けができたか。」  「感謝して、残さず食べるように指導できたか。」

## 6 栄養教諭間の連携及び栄養教諭の研修

取組目標	○お茶を教材とした食に関する指導について検討し、実践する。 ○次年度の食に関する指導の全体計画に、お茶を教材とした食に関する指導を位置付ける。
指導場面と内容の検討	家庭科（食事の仕方、加熱用調理器具の安全な取扱い、米飯の調理） 社会科（地域学習） 総合的な学習の時間
連携の方法	○共通教材の活用。 ・市内統一の給食だよりで指導。（5月：箸の使い方、11月：和食を見直そう） ・給食の時間の放送（6月：歯と口の衛生週間、11月：いい歯の日 等） ○市内の栄養教諭で共有しているフォルダの活用。 ・食に関する指導の共有（指導案、教材、食育だより等） ・茶を使った献立の共有（お茶グラタン、お茶のふりかけ、茶ーハン、お茶トースト等。モデル校以外の学校とも共有。） ○市内栄養教諭研修会の活用。